

西条市の林業について

引用：平成31年3月定例会 一般質問「森林整備と林業振興について」

令和2年5月23日
西条市議会議員 真鍋顕伸

林業の現状について？

- 西条市の林業就業者は、平成12年の国勢調査で81人であったが平成27年の国勢調査では71人に**若干減**少している
- 西条市の素材生産量は、平成4年に5,477 m³まで**低下**したが、平成30年には2万631 m³まで**回復**してきたところである
- 素材価格については、平成3年に13cm上3mの**スギ丸太で2万5,770円**ヒノキ丸太で4万3,380円であった平成30年には、**スギが1万3,250円**、**ヒノキが1万8,670円**と低下している状況である

林業の活性化について？

- 西条市内の製材業者や木材チップ加工業者が、年間に使用する原木の量は約23万 m^3 であり、このうち県産材は約5割である
- 西条市年間素材生産量は、この10年間の平均で約1万5千 m^3 であり、これを全て市内の製材業者等が受け入れたとしても、原木の年間使用量の1割にも満たない
- 西条産の原木を受け入れる余力はまだ十分ある原木を増産するための担い手の育成が課題である
- 担い手の育成は、林業事業者への支援施策として、施設・機械の整備に対する国の補助事業があり、本市での過去5年間の実績は1件
- 県と市が補助を行う「森林整備担い手確保育成対策事業」は、林業研修や高性能林業機械の借り上げに支援を行う毎年実施し、平成30年度においては、5事業者が申請を行い、事業費約810万円に対し、県と市で約446万円の補助

林業の活性化について？

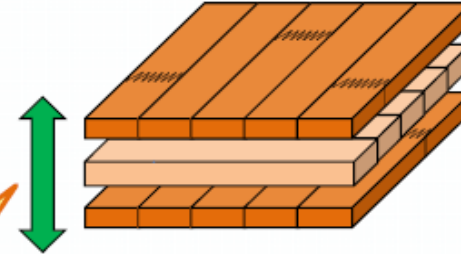
- **西条産材活用促進事業**における、平成30年度ヒノキ柱及びスギ柱に対する補助金の交付決定は19件 交付金額は申請ごとに**各10万円**で、合計190万円CLTに対する補助金は、まだ**応募がない**状況
- 販売促進を目的に、平成30年3月に**株式会社E-CLT**設立 CLTを製造する株式会社サイプレス・スナダヤを中心に、林業・木材産業関係などの**23社が出資**している民間企業 令和元年度のCLTの販売実績は**約1100m³**
- CLTの販売拡大の課題は国内でのCLT建築が始まって日も浅いCLTを扱える**建築士や施工業者が育っていない**など

CLT（直交集成板）とは

CLT(Cross Laminated Timber: 直交集成板)とは

- CLTとは、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着したパネル。
- 欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床として普及しており、我が国においても国産材CLTを活用した中高層建築物等の木造化による新たな木材需要の創出に期待。

CLT(スギ)



積層接着

CLTのメリット

施工が早い

コンクリートの養生期間が不要なため、短期間で施工ができる。



構造部分の組立は
2日間で完了
コンクリートは、1階あたり約5日の養生が必要

※3階建て・延べ面積約270㎡の事例

コンクリートより軽い

建物の重量が軽くなり、基礎工事の簡素化ができる。



CLT
1枚約220kg

(1m × 3m × 厚さ18cm)

コンクリート製品
1枚約500kg

(1m × 3m × 厚さ8.5cm)

※同程度の曲げ強度を有する厚さ同士の比較

断熱性が高い

同じ厚さで比較すると、CLT(木材)はコンクリートより断熱性が高い。

CLT(木材)



9cm

コンクリート



120cm

これらの断熱性能は、ほぼ同等

CLT床(天井)や壁にパネルとして使用すれば、高断熱住宅としやすい

林業の活性化について？

- 西条市は、平成30・31年度、県の補助事業「**新ふるさとづくり総合支援事業**」を活用し、「**C L T 利用促進事業**」を実施
愛媛県及び愛媛県C L T普及協議会と連携した「C L Tの設計演習実務者セミナー」や、「C L T建築技術普及セミナー」を開催
設計者及び施工業者の育成に取り組んでいる
- 民間建築物等へのC L Tの普及促進のため、平成31年3月5日～8日、東京のビッグサイトで開催される「建築・建材展」にC L Tを出展するなどのP R活動「C L T利用促進事業」を活用して行っている
- 全国初となる原木から製品まで一貫生産のC L T工場が完成
C L Tの利用促進を中心に木材利用を推進する
資源が蓄積されている**森林の有効活用**を図る
保水力など森林の持つ公益的機能が十分発揮できる森林整備
地域林業の活性化に繋げる

西条市の林業復活には
更なる財源が必要！



西条市森林整備基金条例
森林環境税／森林環境譲与税